



2017年10月25日

会 社 名 株式会社日立ハイテクノロジーズ
 代 表 者 名 執行役社長 宮崎 正啓
 (コード番号：8036、東証第一部)
 問 い 合 せ 先 CSR本部長付 横井 芳人
 (電話：03-3504-5138)

2018年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益※1		EBIT※2		税引前利益		四半期利益		親会社株主に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	335,590	10.1	27,566	△3.5	27,096	△0.7	27,238	△0.7	20,277	△2.9	20,200	△3.3
2017年3月期第2四半期	304,848	△2.9	28,565	25.2	27,300	23.4	27,436	22.9	20,891	23.4	20,884	23.4

	基本的1株当たり 親会社株主に 帰属する四半期利益		希薄化後1株当たり 親会社株主に 帰属する四半期利益	
	円	銭	円	銭
2018年3月期第2四半期	146	88	—	—
2017年3月期第2四半期	151	85	—	—

※1 当社は「営業利益」に代え、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標である「調整後営業利益」を表示しております。

※2 EBITは、Earnings Before Interest and Taxesの略であり、税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値であります。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社株主持分		親会社株主持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	593,283		374,016		373,635		63.0	
2017年3月期	587,751		357,205		356,913		60.7	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2017年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00	—
2018年3月期	—	40.00	—	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		EBIT		税引前利益		親会社株主に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 親会社株主に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	690,000	7.1	51,000	△11.0	52,000	△3.0	52,000	△3.6	39,000	△2.9	283	58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析（3）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	P. 2
(1) 業績の状況	P. 2
(2) キャッシュ・フローの状況	P. 3
(3) 今後の見通し	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表注記	P. 13

1. 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益335,590百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)比10.1%増)、EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益)27,096百万円(前年同期比0.7%減)、税引前四半期利益27,238百万円(前年同期比0.7%減)、親会社株主に帰属する四半期利益20,200百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

②セグメント別の概況

科学・医用システム

科学システム(電子顕微鏡・科学機器)は、日立ハイテクアナリティカルサイエンスの設立に加え、新製品の拡販や海外向けの販売が好調に推移し大幅に増加しました。

バイオ・メディカルは、中国を中心としたアジア市場での需要は堅調に推移しているものの顧客とのサプライチェーンにおける在庫調整等により大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は87,578百万円(前年同期比5.4%減)、EBITは9,672百万円(前年同期比33.4%減)となりました。

電子デバイスシステム

プロセス製造装置は、次世代先端プロセス量産投資やメモリー量産投資向けに販売が好調に推移したことから増加しました。

評価装置においても、測長SEM及び外観検査装置の販売が好調に推移し大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は70,130百万円(前年同期比22.7%増)、EBITは17,844百万円(前年同期比31.7%増)となりました。

産業システム

社会インフラは、鉄道検測装置は堅調でしたが計装システムの販売減により微減となりました。

産業インフラは、自動車部品自動組立システムの顧客の投資時期変更等により微減となりました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は33,787百万円(前年同期比3.2%減)、EBITは920百万円の損失(前年同期は41百万円の損失)となりました。

先端産業部材

工業材料は、素材関連取引の増加や海外向けの自動車部品が堅調に推移したことにより大幅に増加しました。

電子材料は、半導体関連や光通信関連部材が好調に推移し大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は147,454百万円(前年同期比18.1%増)、EBITは1,888百万円(前年同期比125.9%増)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より3,356百万円減少し、186,427百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動に関するキャッシュ・フロー)

営業活動に関するキャッシュ・フローは、四半期利益が減少したこと、営業債権、棚卸資産、営業債務等の運転資金増減が支出に転じたこと、及び法人所得税の支払が増加したこと等により、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)に比べ21,614百万円減少し、11,322百万円の収入となりました。

(投資活動に関するキャッシュ・フロー)

投資活動に関するキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得等による支出、及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が増加しましたが、定期預金及び預け金の払戻の増加等により、前年同期に比べ8,215百万円支出が減少し、8,755百万円の支出となりました。

以上により、営業活動に関するキャッシュ・フローと投資活動に関するキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、前年同期に比べ13,400百万円減少し、2,567百万円の収入となりました。

(財務活動に関するキャッシュ・フロー)

財務活動に関するキャッシュ・フローは、配当金の支払が増加したこと等により、前年同期に比べ1,647百万円支出が増加し、7,175百万円の支出となりました。

(3) 今後の見通し

日本では個人消費が堅調に推移するとともに企業の設備投資が増加するなど緩やかな景気の回復が持続しています。米国においても雇用の増加を背景に景気の回復が持続すると予想されますが、今後の経済政策の動向には不透明感があります。欧州では企業収益の改善など緩やかな景気回復の傾向にありますが、英国のEU離脱交渉の動向が不安材料となっています。また新興国の景気は持ち直しの動きがあるものの中国経済の減速が懸念されます。

当社を取り巻く事業環境は、科学・医用システム関連市場では、科学システムにおいて電子デバイス関連や環境・新エネルギー分野向けの需要の増加が期待され、バイオ・メディカルにおいては、市場全体は堅調に推移するものの価格競争が厳しくなると予想されます。半導体製造装置市場では、メモリー向け投資を中心に堅調に推移すると予想されます。産業システム関連市場では、社会インフラ及び産業インフラにおいて設備投資が活発化すると予想されます。先端産業部材関連市場では、自動車関連部材や光通信部材は堅調に推移すると予想されます。

当社の通期の連結業績予想は、電子デバイスシステムにおいて半導体製造装置の販売が堅調に推移していることや当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び今後の見通しを踏まえ、前回予想を次の通り修正しております。

2018年3月期連結業績予想の修正（2017年4月1日～2018年3月31日）

	売上収益	調整後 営業利益	EBIT	税引前利益	親会社株主 に帰属する 当期利益	基本的1株 当たり 親会社株主 に帰属する 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 680,000	百万円 46,000	百万円 46,000	百万円 46,000	百万円 35,000	円 銭 254.49
今回修正予想 (B)	690,000	51,000	52,000	52,000	39,000	283.58
増減額 (B-A)	10,000	5,000	6,000	6,000	4,000	—
増減率 (%)	1.5	10.9	13.0	13.0	11.4	—
(ご参考) 前期連結実績 (2017年3月期)	644,545	57,272	53,636	53,918	40,170	292.08

当社グループでは、2020年に向けてさらなる成長を加速させるため、2016年度から2018年度までの「中期経営戦略」を策定し、事業ポートフォリオ戦略にもとづく具体的な戦略及び施策を展開しています。

今後とも、ハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップをめざすとともに、最先端・最前線の事業創造企業としてお客様視点に立ち、顧客及び市場のニーズにスピーディーに対応し、業績予想の達成をめざしていきます。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	189,783	186,427
営業債権	146,566	144,864
有価証券及びその他の金融資産	31,405	17,680
棚卸資産	100,851	106,537
未収法人所得税	452	352
その他の流動資産	4,109	6,110
流動資産合計	473,165	461,969
非流動資産		
有形固定資産	70,806	72,574
無形資産	7,897	17,790
持分法で会計処理されている投資	383	1,361
営業債権	994	942
有価証券及びその他の金融資産	10,487	14,910
繰延税金資産	22,805	22,507
その他の非流動資産	1,213	1,231
非流動資産合計	114,585	131,314
資産合計	587,751	593,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業債務	121,342	120,232
その他の金融負債	17,202	14,792
未払法人所得税	13,899	6,658
未払費用	24,437	24,346
前受金	18,549	17,994
引当金	1,640	1,727
その他の流動負債	1,631	1,912
流動負債合計	198,700	187,661
非流動負債		
その他の金融負債	3,478	1,792
退職給付に係る負債	26,106	26,896
引当金	1,488	1,549
繰延税金負債	21	813
その他の非流動負債	752	557
非流動負債合計	31,846	31,607
負債合計	230,546	219,268
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	7,938	7,938
資本剰余金	35,662	35,662
利益剰余金	303,136	317,148
その他の包括利益累計額	10,532	13,245
自己株式	△356	△358
親会社株主持分合計	356,913	373,635
非支配持分	292	381
資本合計	357,205	374,016
負債及び資本合計	587,751	593,283

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上収益	304,848	335,590
売上原価	△229,251	△256,256
売上総利益	75,598	79,333
販売費及び一般管理費	△47,033	△51,768
調整後営業利益	28,565	27,566
その他の収益	158	149
その他の費用	△2,427	△237
営業利益	26,296	27,477
金融収益	1,110	130
金融費用	△128	△642
持分法による投資損益	21	131
受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益	27,300	27,096
受取利息	157	179
支払利息	△21	△37
税引前四半期利益	27,436	27,238
法人所得税費用	△6,545	△6,961
四半期利益	20,891	20,277
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分	20,884	20,200
非支配持分	7	77
合計	20,891	20,277
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益： 基本的及び希薄化後1株当たり親会社株主に 帰属する四半期利益(円)	151.85	146.88

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	20,891	20,277
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	△216	705
純損益に組み替えられない項目合計	△216	705
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△4,905	2,129
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	△6	111
純損益に組み替えられる可能性がある項目合計	△4,911	2,240
その他の包括利益合計	△5,127	2,945
四半期包括利益	15,764	23,222
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	15,794	23,133
非支配持分	△30	89
合計	15,764	23,222

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益累計額		
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額	確定給付制度の再測定	在外営業活動体の換算差額
2016年4月1日	7,938	35,662	267,903	6,375	△1,613	4,379
四半期利益			20,884			
その他の包括利益				△216		△4,869
四半期包括利益	—	—	20,884	△216	—	△4,869
自己株式の取得		△0				
配当金			△5,501			
非支配持分の取得及び処分						
所有者との取引額合計	—	△0	△5,501	—	—	—
2016年9月30日	7,938	35,662	283,286	6,159	△1,613	△490

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額		自己株式	親会社株主持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	その他の包括利益累計額合計				
2016年4月1日	496	9,636	△349	320,790	264	321,054
四半期利益		—		20,884	7	20,891
その他の包括利益	△6	△5,091		△5,091	△37	△5,127
四半期包括利益	△6	△5,091	—	15,794	△30	15,764
自己株式の取得		—	△3	△3		△3
配当金		—		△5,501		△5,501
非支配持分の取得及び処分		—		—	68	68
所有者との取引額合計	—	—	△3	△5,504	68	△5,435
2016年9月30日	490	4,545	△352	331,080	302	331,382

当第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益累計額		
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額	確定給付制度の再測定	在外営業活動体の換算差額
2017年4月1日	7,938	35,662	303,136	3,681	3,191	3,726
四半期利益 その他の包括利益			20,200	705		2,117
四半期包括利益	—	—	20,200	705	—	2,117
自己株式の取得 配当金 非金融資産等への振替		△0	△6,189			
所有者との取引額合計	—	△0	△6,189	—	—	—
2017年9月30日	7,938	35,662	317,148	4,386	3,191	5,843

(単位:百万円)

	その他の包括利益累計額		自己株式	親会社株主持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	その他の包括利益累計額合計				
2017年4月1日	△66	10,532	△356	356,913	292	357,205
四半期利益 その他の包括利益	111	2,933	—	2,933	12	2,945
四半期包括利益	111	2,933	—	23,133	89	23,222
自己株式の取得 配当金 非金融資産等への振替	△220	△220	△3	△6,189 △220		△3 △6,189 △220
所有者との取引額合計	△220	△220	△3	△6,411	—	△6,411
2017年9月30日	△175	13,245	△358	373,635	381	374,016

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	20,891	20,277
四半期利益から営業活動に関する キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	5,239	5,696
減損損失	2,310	59
法人所得税費用	6,545	6,961
持分法による投資損益	△21	△131
受取利息	△157	△179
受取配当金	△155	△74
支払利息	21	37
有形固定資産、無形資産の売却等損益	89	139
営業債権の増減	2,239	5,996
棚卸資産の増減	△4,497	△2,441
営業債務の増減	△1,127	△4,947
前受金の増減	3,833	△783
退職給付に係る負債の増減	△3,075	△876
その他	735	△3,857
小計	32,870	25,877
利息の受取	140	183
配当金の受取	155	74
利息の支払	△21	△37
法人所得税の支払	△1,833	△14,851
法人所得税の還付	1,625	75
営業活動に関するキャッシュ・フロー	32,937	11,322
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
定期預金及び預け金の預入	△12,500	△11,000
定期預金及び預け金の払戻	—	25,000
有形固定資産の取得	△3,358	△7,264
無形資産の取得	△1,049	△1,036
有形固定資産の売却	128	31
無形資産の売却	226	4
有価証券及びその他の金融資産の取得	△459	△4,413
有価証券及びその他の金融資産の売却及び償還	148	196
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得	—	△10,209
その他	△105	△63
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△16,969	△8,755

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
非支配持分株主からの払込	68	—
配当金の支払	△5,495	△6,186
非支配持分株主への配当金の支払	△20	△20
自己株式の取得	△3	△3
その他	△79	△966
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△5,529	△7,175
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△3,657	1,252
現金及び現金同等物の増減	6,782	△3,356
現金及び現金同等物の期首残高	169,375	189,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	176,157	186,427

(5) 要約四半期連結財務諸表注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

①報告セグメントの収益及び損益

報告セグメントの収益及び損益は以下の通りであります。セグメント損益は、EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益)であります。

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	科学・医用 システム	電子 デバイス システム	産業 システム	先端産業 部材	計			
売上収益								
外部顧客への 売上収益	92,345	56,960	33,704	123,372	306,381	382	△1,915	304,848
セグメント間の 売上収益	272	203	1,215	1,504	3,194	445	△3,639	—
計	92,617	57,163	34,919	124,876	309,575	827	△5,554	304,848
セグメント損益								
EBIT	14,523	13,554	△41	836	28,872	△547	△1,025	27,300
受取利息(注2)	263	—	—	—	263	—	△106	157
支払利息(注2)	—	△7	△62	△135	△203	△4	186	△21
税引前四半期利益	14,786	13,547	△103	701	28,932	△551	△945	27,436

(注1)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。
(注2)各事業セグメントにおける受取利息及び支払利息は社内借入金に対する利子であり、社内管理上、純額後の金額にて認識しているため、純額後の金額に応じて受取利息もしくは支払利息として表示しております。また、受取利息及び支払利息の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない本社に係る金額及び社内借入金に対する利子の戻入額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	科学・医用 システム	電子 デバイス システム	産業 システム	先端産業 部材	計			
売上収益								
外部顧客への 売上収益	87,303	69,989	32,342	144,875	334,509	531	550	335,590
セグメント間の 売上収益	275	141	1,444	2,578	4,439	540	△4,979	—
計	87,578	70,130	33,787	147,454	338,949	1,071	△4,430	335,590
セグメント損益								
EBIT	9,672	17,844	△920	1,888	28,484	△455	△933	27,096
受取利息(注2)	123	—	—	—	123	—	56	179
支払利息(注2)	—	△6	△34	△98	△138	△3	104	△37
税引前四半期利益	9,795	17,838	△954	1,790	28,469	△458	△773	27,238

(注1)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。
(注2)各事業セグメントにおける受取利息及び支払利息は社内借入金に対する利子であり、社内管理上、純額後の金額にて認識しているため、純額後の金額に応じて受取利息もしくは支払利息として表示しております。また、受取利息及び支払利息の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない本社に係る金額及び社内借入金に対する利子の戻入額であります。

②報告セグメントの損益合計額と要約四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

セグメント損益(EBIT)	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
報告セグメント計	28,872	28,484
「その他」の区分の損益	△547	△455
セグメント間取引消去	△2	106
その他の調整額(注)	△1,022	△1,038
要約四半期連結損益計算書計上額	27,300	27,096

(注)その他の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない全社損益であります。

③報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、営業本部を基礎とした製品・商品及びサービス別のセグメントから構成されており、「科学・医用システム」、「電子デバイスシステム」、「産業システム」、「先端産業部材」の4つを報告セグメントとしております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、事業区分の変更に伴い「産業システム」に含まれていた一部製品を、「先端産業部材」に移管しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期利益に対する実効税率を永久差異・税額控除・評価性引当金等を考慮して合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。